

分野をつなぎ移動に関する諸問題に取り組む
特定非営利活動法人 ゆうらん

[第 11 期]

事業報告書

[2016.10.1～2017.9.30]



You can feel the Outlook of an Universe.

Run with Us Now !

1. 2016 年度事業・活動

はじめに

本事業年度においては、JR 北海道が単独維持困難路線を発表したことなどから、道民をはじめ全国的に公共交通のあり方について考える人が増えたものと思われます。このことに端を発し、鉄道の存廃問題にとどまらず、北海道の未来や都市部と地方の関係なども合わせて考えざるを得ませんでした。

(1) 誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する事業

① JR 北海道の単独維持困難路線問題関連

JR 北海道の単独維持困難路線の発表以降、下記の活動を行いました。

1) 北の鉄道の未来研究会

■講師：高橋 功 氏 ((株)二十一世紀総合研究所)

鉄道全盛期から今日に至るまでの経緯や、持続可能なスキームなどについてお伺いした上で、意見交換を行いました。

当初会員向けの予定でしたが、外部にも周知しました。

また、同研究会の継続を予定していましたが、鉄道関連の活動は 2) の NPO 法人北海道 NPO サポートセンター様が主催される関連イベントと共催することにしました。



北の鉄道の未来研究会の様子

(1 月 30 日開催：参加者 10 名)

2) 鉄道活性化関連 (北海道 NPO サポートセンター共催)

NPO 法人北海道 NPO サポートセンター様が主催する下記イベントに共催しました。

● 鉄道を活かした地域の魅力再発見ワークショップ

各自が趣旨に沿った企画を持ち寄り、ワークショップ形式で企画をブラッシュアップし、参加者により優れた企画を選出しました。

現在、ワークショップで選出された 3 つの計画の実施に向けて、打合せを継続中。

(5 月 20 日、6 月 24 日開催：参加者 延べ約 30 名)

● 鉄道落語&写真トーク

撮り鉄・落語家親子の桂梅團治氏、桂小梅氏による鉄道落語会と写真トークを開催。(6 月 24 日開催：参加者 約 60 名)



鉄道落語&写真トーク チラシ

② 定住への道しるベツアー

NPO 法人北海道ふるさと回帰支援センター様が行っている「東日本大震災避難者を対象とした定住先紹介ツアー」でのルートコーディネートを行いました。

(2) 円滑な移動を支援する事業

①訪日外国人への対応向上支援

道案内に的を絞った英会話講座「カンタン英会話講座」を酪農学園大学様のご協力（講師派遣）により2回行いました。

「わかりやすかった」、「楽しかった」などのご意見を多く頂戴しました。

(11月18日、1月20日開催(参加費無料)：参加者 延べ29人)
((公財) 北海道地域活動振興協会助成)



カンタン英会話講座の様子

②公共交通路線図（なまらシリーズ）関連

1)各マップのweb閲覧機能の構築

「なまら便利なバスマップ」（札幌）、「なまらイカしたバスマップ」（函館）がスクロール式に閲覧できるようにしました。（北海道ろうきん社会貢献助成制度による助成）

※「なまらライسنバスマップ」（岩見沢）は、2017年10月1日の路線再編に伴い、同年9月30日に公開を終了しました。

2)「なまら霧としたバスマップ」（釧路）の制作・公開

釧路町から講演依頼を受けた際に、話題提供のひとつとして、釧路市・釧路町の公共交通路線図を制作し、web上で公開しました。

3)マップデータの販売

国立大学法人東京大学様に、「なまらイカしたバスマップ」（函館市）のデータをご購入いただきました。

③バス停検索のメンテナンス

全国のバス停検索ができるwebサイト「バス停検索」（運営主体：青い森ウェブ工房様）のメンテナンスをお手伝いしました。

④講師派遣

釧路町様から講師依頼を受け、2017年1月26日に当団体の取組みについて講演させていただきました。

(3) 環境負荷低減を推進する事業

①さっぽろ環境観光事業

「さっぽろサイクルらぼ」に参画しています。

(構成団体：(一社)シーニックバイウエイ支援センター、NPO法人エコ・モビリティ サッポロ、NPO法人ポロクル、NPO法人ゆうらん)

②その他

事業番号 2、4 におけるそれぞれの事業、及び、公職（北海道環境審議会温暖化対策部会）が、環境負荷低減につながる内容を内包しています。

(4) 情報収集発信及び調査研究事業

web 上で、「福祉と交通」、「環境と交通」はじめ、移動にかかわる情報発信を行っています。



トップページ

①情報収集発信

1) ホームページ

◇総アクセス数：総訪問者数 327,825 人

(年間 116,647 人) (9 月 30 日現在)

◇1 日平均：約 320 人 [前年比：約 107%]

◇訪問者数が最も多かった日：2017 年 5 月 16 日 (580 人)

◇最も訪問者が多かった記事上位 3 件 (過去 7 日間)

(単位：人)

ページ内容	件数
札幌⇄函館方面	135
札幌市内 1 日乗車券 [北海道中央バス]	112
ようこそ！ NPO 法人ゆうらんのホームページへ	110

◇記事別の訪問者数

(単位：人)

ページ内容	人数
市電・函館バス共通 1 日，2 日乗車券 [函館市、函館バス]	27,212
共通 1DAY カード [札幌市交通局、札幌市内バス 3 社]	26,866
札幌⇄函館方面	22,153

2) ソーシャル・メディア (SNS) の活用

フェイスブックは、平日 1 日 1 件の投稿を心掛け、会員以外の方々との交流や情報交換を図ってきました。

なお、フェイスブックの最新投稿は、ホームページのトップに反映されています。

・獲得「いいね！」-311 件 (9 月 30 日現在)

②調査研究事業

当団体が、協力者として参画させていただいている企業の各業務を通じて、以下の調査研究等に関わりました。

- ・道内各自治体運営によるバス（コミュニティバス）の路線再編案の作成
- ・北海道新幹線開業後の交通機関等の変化

など

- (5) 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 ※
- (6) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業 ※
- (7) 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業 ※
- (8) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業 ※
- (9) 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業 ※
- (10) 道路運送法に基づく福祉有償運送事業 ※
- (11) 路運送法に基づく旅客自動車運送事業 ※
- (12) 公的施設の管理運営事業 ※

※の各事業は本年度実施に至りませんでした。

(13) その他

①企業・団体との連携

以下の企業・団体様とお取引を致しました。(50音順)

青い森ウェブ工房様／(一社)シーニックバイウェイ支援センター様／(株)地域デザイン様／国立大学法人 東京大学様／日本データサービス(株)様／(一社)北海道開発技術センター様／NPO法人北海道ふるさと回帰支援センター様

②各公職への出席

◇札幌圏モビリティ・マネジメント会議

平成28年度 第1回(10月)／第2回(3月)

◇北海道環境審議会地球温暖化対策部会

平成28年度 第3回(10月)／第4回(1月)

平成29年度 第1回(8月)

③その他

事務局へのお問合せ件数

◇直接 17件(電話・メール・訪問) [前年比:70.8%]

・主な内容ー「なまら便利なバスマップ」の配布場所、発行時期などについて。

2. 2016 年度収支決算報告、監査

活動計算書

2016 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	39,000	39,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	160,000	160,000
3. 事業収益		
円滑な移動支援事業収益	2,367,366	
情報収集発信・調査研究事業収益	2,492,910	4,860,276
4. 受取補助金等		
受取民間助成金	400,000	400,000
5. その他収益		
受取利息	35	
雑収益	58,032	58,067
経常収益計		5,517,343
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	2,350,000	
法定福利費	355,906	
人件費計	2,705,906	
(2) その他経費		
業務委託費	231,600	
旅費交通費	349,310	
福利厚生費	4,800	
会議費	10,684	
通信費	80,735	
事務用品費	18,616	
支払手数料	756	
租税公課	1,000	
印刷製本費	4,885	
賃借料	12,960	
諸謝金	53,456	
雑費	4,145	
その他経費計	772,947	
事業費計		3,478,853
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
通信費	8,478	
消耗品費	2,415	
事務用品費	216	
地代家賃	308,400	
保険料	7,540	
租税公課	600	
雑費	203	
その他経費計	327,852	
管理費計		327,852
経常費用計		3,806,705
当期正味財産増減額		1,710,638
前期繰越正味財産額		3,642,744
次期繰越正味財産額		5,353,382

その他の事業会計該当なし

貸借対照表

2017年9月30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,267		
普通預金	4,798,770		
郵便振替口座	2,115		
未収金	486,000		
前払費用	25,700		
流動資産合計		5,362,852	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	46,800		
投資その他の資産計	67,800		
固定資産合計		67,800	
資産合計			5,430,652
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	33,563		
預り金	43,707		
流動負債合計		77,270	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			77,270
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,642,744	
当期正味財産増減額		1,710,638	
正味財産合計			5,353,382
負債及び正味財産合計			5,430,652

その他の事業会計該当なし

財産目録

2017 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	50,267		
北海道労働金庫	83,538		
北洋銀行	4,715,232		
ゆうちょ銀行振替口座	2,115		
未収金			
事業収入1件	486,000		
前払費用	25,700		
流動資産合計		5,362,852	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	46,800		
固定資産合計		67,800	
資産合計			5,430,652
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	33,563		
預り金	43,707		
流動負債合計		77,270	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			77,270
正味財産			5,353,382

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

（1）消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳 事業費の区分以下の通りです。

(単位:円)

科目	円滑な移動 支援事業	情報収集発信 + 調査研究事業	助成事業	合 計
(1) 人件費				
給料手当	1,130,000	1,130,000	90,000	2,350,000
法定福利費	172,497	172,497	10,912	355,906
人件費計	1,302,497	1,302,497	100,912	2,705,906
(2) その他経費				
業務委託費	10,800	0	220,800	231,600
旅費交通費	288,410	60,900	0	349,310
福利厚生費	4,800	0	0	4,800
会議費	6,394	0	4,290	10,684
通信費	76,307	0	4,428	80,735
事務用品費	18,271	0	345	18,616
支払手数料	162	0	594	756
租税公課	1,000	0	0	1,000
印刷製本費	0	0	4,885	4,885
賃借料	0	0	12,960	12,960
諸謝金	0	0	53,456	53,456
雑費	4,145	0	0	4,145
その他の経費計	410,289	60,900	301,758	772,947
合 計	1,712,786	1,363,397	402,670	3,478,853

■主な活動実績

- 2004年 6月 任意団体としてスタート
- 2006年 3月 「なまら便利なバスマップ」初版1万部発行（札幌市委託事業（元気プロポーザル事業））
- 2006年 11月 第4回パートナーシップ賞受賞、NPO法人認証
- 2007年 6月 「なまら便利なバスマップ」第2版1万部発行（札幌市委託事業）
- 2007年 7月 えき・バスナビ&バスマップ使い方講座開催
- 2007年 11月 「札幌公共交通おでかけ講座」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2008年 6月 「なまら便利なバスマップ」第3版1万部発行（（公財）秋山記念生命科学振興財団助成、（一社）北海道開発技術センター協力）
- 2009年 8月 「なまら便利なバスマップ」第4版1万5千部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2009年 9月 「北海道EST創発セミナーin札幌」（主催：北海道運輸局交通環境部環境課、交通エコロジー・モビリティ財団）に講師派遣
- 2009年 12月 「なまら便利なバスマップ」第5版2万部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2010年 2月 第5回人づくり・地域づくりフォーラム（主催：（公財）山口県ひとづくり財団）に講師派遣
- 2010年 8月 「バスマップの底力」（全国バスマップサミット実行委員会 編著）発行
- 2010年 11月 講座「これからの札幌圏の公共交通機関について考えよう！」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2011年 1月 「なまら便利なバスマップ」第6版1万部発行
- 2011年 6月 「NPOの特性を活かした地域課題解決型事業」（札幌市緊急雇用創出推進事業）、第8回北大ディベート大会「札幌市の交通デザイン」（主催：北海道大学大学院経済学研究科・経済学部）の話題提供として講師派遣
- 2011年 8月 在札被災者支援として、「さっぽろの歩き方」発行
- 2012年 1月 「なまら便利なバスマップ」第7版1万部発行
- 2012年 2月 公共交通で札幌のイイトコ発見しよう！（4種類）各2,000部発行
- 2012年 3月 交通まちづくりシンポジウム開催（参加者約100名）
- 2013年 2月 交通まちづくりフォーラム開催（実行委員会の幹事団体として参画）（参加者約200名）、
「北海道交通事業者HPユーザビリティ調査」（北海道運輸局委託事業）
- 2013年 6月 ホームページリニューアル
- 2014年 1月 「なまら便利なバスマップ」第8版1万部発行（初の協賛金による発行）
- 2015年 6月 「なまら便利なバスマップ」第9版2万部発行（全国初クラウドファンディングによる発行）
- 2016年 2月 各種マップのスマホアプリ「PDF Maps」化実施
- 2016年 11月 各マップのweb閲覧機能の構築（北海道ろうきん社会貢献助成）
「カンタン英会話講座」①開催（（公財）北海道地域活動振興協会助成）
- 2017年 1月 「カンタン英会話講座」②開催（（公財）北海道地域活動振興協会助成）
- 2017年 5月 鉄道を活かした地域の魅力再発見ワークショップ①（※）
- 2017年 6月 鉄道を活かした地域の魅力再発見ワークショップ②（※）
鉄道落語&写真トーク開催（※）
- （※）は、NPO法人北海道NPOサポートセンターとの共催